



みんなで考えよう！みんなでそなえよう！自ら命をまもるため。

手づくりハザードマップ作成手引き（参加者用）

1日目（勉強会・まち歩き準備）

2日目（マップ仕上げ・カード作成）

手づくりハザードマップ作成のながれです。

■手づくりハザードマップの作成の目的

手づくりハザードマップは、地域のみなさまが、お住まいの地域の水害の危険性について“気づき”正しく“理解”し、いざというときに的確な“判断”ができるように取り組む過程によって、個々の力となるとともに、地域コミュニティの活性化を図るものです。

まず半日集まって勉強会を行い、各自でまち歩きを行い、最後に半日集まってマップづくりを行います。

★進め方は、大きく2段階！

STEP1 地域で起こり得る水害について知ろう！

水害ハザードマップから、想定し得る最大規模の大雨による浸水の状況や避難に関する基礎知識を勉強します。

- ・どの程度の雨量で、どこかの河川がはん濫したら、どの程度の浸水が想定されているのか？
- ・市の指定避難所はどこか？
- ・いつ避難情報が発令されるのか？
- ・洪水ハザードマップを、ご家族を水害から守るために必ずご覧ください。



安城市水害ハザードブック

でも...そうってからでは遅い！ 早めの避難が必要なんです！だから...次のステップに！

STEP2 水害をジブンゴトにしよう！

★Mieru-Da Projectが提供する3D水害ハザードマップを見て、浸水の状況を具体的にイメージしましょう。

- ・家のどこまで浸水するの？

★まち歩きをし、手づくりハザードマップなどを作成する中で少しずつ水害への関心を高めていきましょう。

- ・自分たちは水害時に避難する必要がある？
- ・自宅待機の方が安全？
- ・避難するなら安全な避難場所はどこ？
- ・避難するとき危険な場所はないか？
- ・避難のタイミングは？



Mieru-da Projectが提供する3D水害ハザードマップ

手づくりハザードマップの例（安城市藤野地区）

メモ



1日目 みんなで



1か月 それぞれ



STEP1 地域で起こり得る水害について知ろう！

①水害ハザードマップに対する理解を深めよう。

★住んでいる地域の近くで流れる川がはん濫した際の、予測される最大の水深や地域の避難所などが分かります。

②そんな大きな水害には、どんな危険が潜んでいるの？

過去の水害などから勉強しましょう。※市が説明する場合に限る。
★そうってからでは遅い！そうなる前に、早めに判断！早めの行動！

STEP2 水害をジブンゴトにしよう！

①3D水害ハザードマップを見て、浸水の状況を具体的にイメージしよう。

②住んでいる地域を歩いてみよう。

今回は、みなさんで地図の作成は自動でマッピングされるので、現地を撮影してもらいます！
★浸水している様子を思い描きながら、住み慣れた地域を改めて歩いてみよう！
普段見えないものが見えてくるかもしれません。

「もし家の前の道路が、足首まで水に浸かっているとしたら？」
「更に大きな水害になるような強い雨が降り続けているとしたら？」という浸水状況...

③まち歩きでの確認・発見を、撮影して投稿しよう。

★まち歩きで確認した・発見したこと、普段から気になっていること、昔からの言い伝えなど、どんどん投稿しましょう。

③みんなの作業結果を共有しましょう。

★みんなが撮影したデータが、特設サイトに集まっていきます。みんなが気になっていることをしっかり見てみましょう。
自分では気づかないコトも、きっとあるかも。

2日目 みんなで



STEP2 水害をジブンゴトにしよう！

A 手づくりハザードマップの記載内容の確認

★みんなが撮影したデータをみんなで確認します。

B 地図にコメントの確認

★みんなが撮影時にコメントデータをみんなで確認します。

C 作業結果の発表会

★グループまたはみんなで決めた発表者ごとに発表会を開催し、地域で情報共有します。

D 手づくりハザードマップの活用方法の話し合い

★各戸に配布したり、地域の寄り合い所に貼り出したりと、手づくりハザードマップを地域で活用する方法について話し合います。

E 勉強会「過去の被害事例」※市が説明する場合に限る。

★平成27年9月の関東・東北豪雨の鬼怒川決壊、平成21年8月の台風9号に伴う兵庫県佐用町の被害などから、事前に避難のタイミングを考えておくことの重要性を学びます。

F 勉強会「災害避難カードの作成に向けて」

★自宅の水害危険性を知り、避難の必要性を理解するとともに、いつ避難を開始すれば良いか、雨量・雨域と河川水位情報の関係、水位観測所の位置や確認方法、水位情報と避難情報の関連、みずプロメールなどについて学習することを通じて、一人ひとりが考えます。

G カード記入

★勉強会で学んだことを基に、一人ひとりで災害避難カードに記入をします。

H 意見交換

★これまでの2日間のワークショップをふまえ、大雨のときにどんな行動をすればよいか、避難のタイミングはどうしたらよいかなど、自分や地域が取るべき行動を改めて考えます。